

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2017年10月23日

報告書名：平成28年度 日本 NGO 連携無償資金協力 完了報告書

平成28年度 日本 NGO 連携無償資金協力 完了報告書

2017年10月23日

事業名	ヤンゴン及びバゴ地域における読書推進・図書館改善事業 The Reading Promotion and Library Improvement in Yangon and Bago Regions	5 lines
事業対象地	ミャンマー連邦共和国、ヤンゴン地域ヤンゴン市、バゴ地域ピー県	
事業期間	事業期間：2016年7月25日～2017年7月24日	
公的資金種別	平成28年度 日本 NGO 連携無償資金協力	
総支出・返還金	総支出：21,568,424円（返還額：136,866円）	
プロジェクト目標および、その達成度	<p>本事業は1年次にピー県の公共図書館6館、2年次にタヤワディ県の公共図書館8館にて児童サービスの改善に取り組んできた。3年次は両県の公共図書館計14館の児童サービスの知識や技能の改善・向上を目指したフォローアップを行い、各図書館における活動の浸透が一層図られた。日常のサービスの提供に伴い、図書館員の技能向上、活動理解の促進により利用者数が増加し、公共図書館が実施する移動図書館活動の頻度が高まり、各図書館から学校への図書貸出しサービスも開始することが出来た。</p> <p>移動図書館活動含む年間利用者総数の推移を見ると、ピー県は約15,000名、タヤワディ県は約35,000名の増加が見られた。</p>	～10 line
実施内容 概要	<p>(ア) ピー県、タヤワディ県公共図書館14館へのフォローアップ</p> <p>(1) 対象校14校に児童図書760冊を供与した。</p> <p>(2) 図書館員向けの児童サービスに関する研修会を当会ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所の副所長を講師として招聘し、図書館員向け児童サービスに関する研修会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">●ピー県：情報局職員7名、図書館員9名の計13名が参加した。●タヤワディ県：情報局職員9名、図書館員10名の計21名が参加した。 <p>(3) 図書館合同による四半期及び年次会議を開催した。両県ともに3ヶ月間の「各活動の成果」、「課題」、「次3ヶ月に向けた活動計画」を情報局職員、図書館員そしてSVA間にて共有、改善のための議論を行った。</p> <p>(4) 2県の図書館合同での会議を開催した。</p> <p>2017年5月に情報省中央政府からも代表者が参加し、これまでの児童サービス実施の成果や課題などを振り返り、それを踏まえた今後の取組みについて、運営面及び資金面などから協議を行った。</p>	2/3 page

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2017年10月23日

報告書名：平成28年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

	<p>中央職員による児童スペース及び活動の視察を通じて、これまで報告書だけでは伝わらなかった活動への理解が促進された。公共図書館において児童サービスが重要な活動の一つであると位置づけられ、西バゴー地域での取り組みがモデルケースとなるよう運営を強化していく旨が情報省より約束された。</p> <p>(5) 図書館にアクセスできない児童やコミュニティのための三輪バイクによる移動図書館活動を行った。ピー、タヤワディ両県にて、絵本貸し出しサービスを開始した。</p> <p>(イ) 児童図書の製作</p> <p>ミャンマー作家協会と協同で、「平和」をテーマに5タイトルを作成、当会の自己資金にて絵本出版が行われた。出版された絵本は、情報省情報広報局を通じて全国の公共図書館へ配布した。</p> <p>また、日本から専門家招聘し、「紙芝居製作」をテーマに第三回児童図書出版研修会を開催した。</p> <p>(ア) 教育図書のビルマ語出版</p> <p>ビルマ語で書かれた教育図書出版が不足していること、英語にて出版されている教育関連図書をビルマ語に翻訳して出版した。情報省出版公社との協同のもと、対象図書「アジアのおはなし」のミャンマー語翻訳の応募を10月から2016年1月上旬まで実施し、23人から申込みがあった。その後、同公社翻訳課による第一次審査後、外部審査員、当会合同にて第二次選考会を行い2月に入賞者が決定した。3月に入賞授与式を開催。その後、出版印刷に向けた編集作業を開始し、7月に8,000部の印刷が完了。情報省情報広報局への贈呈を終え、全国の公共図書館への配布を開始した。</p>	
成果 (3年間)	<p>(1) 公共図書館の児童サービスが改善されている</p> <p>1. 14館の公共図書館にて児童図書の数が増えている</p> <p><u>指標.2年目(タヤワディ県)：対象公共図書館6館各館にて、400冊から650冊へ増加</u></p> <p>→国内購入の児童向け図書305冊、日本からの絵本240冊、本事業で出版した絵本75冊、教育図書出版20冊、合計760冊/館を供与した。</p> <p><u>指標.3年目(ピー県)：対象公共図書館8館にて、650冊から1000冊へ増加</u></p> <p>→国内購入の児童向け図書305冊、タイからの絵本120冊、日本からの絵本240冊、本事業で出版した絵本75冊、教育図書出版20冊、移動図書館活動用図書760冊/館供与した。</p>	～1page

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2017年10月23日

報告書名：平成28年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

<p>2. 図書館員による児童サービス活動が改善している。</p> <p><u>指標. 2年目(タヤワディ県)：7割以上の図書館員が児童サービス活動の実践に必要な知識、技能、態度を有している(過去に研修を受けたことがないため、事業開始前は0割と設定する)。</u></p> <p>→8名中8名全員が、活動実施に必要な知識、技能、態度を有してきているが、研修実施後に2名が他県へ異動。しかしその後も異動先の公共図書館にて児童向け活動に従事している。</p> <p><u>指標. 3年目(ピー)：対象の全図書館員が児童サービス活動の実践に必要な知識、技能、態度を有している。</u></p> <p>→6名中6名の図書館員が1年目から継続して図書館研修に参加し活動実施に必要な知識、技能、態度を有してきている。この内1名については2017年初めにオフィサーに昇格、東バゴー県カワ公共図書館へ異動となったものの、図書館員時の経験を活かし、同図書館にて児童サービス実施、図書館員への指導も継続して行っている。</p> <p>3. 対象地域における図書館活動への子どもの参加率が事業開始前の率より高まっている。</p> <p><u>指標. 2年目(タヤワディ県)：0%⇒20%(事業開始前は児童向けの活動がほとんどなく来館者は各館を通じて一日平均10人～15人程度に留まっていることから開始前の参加率を0%と設定している)。</u></p> <p>→1年目から2年目の利用者増加率は約100%にて指標を達成(34,949名増)(1年目の児童利用者数：33,980名、2年目：68,629名)</p> <p><u>指標. 3年目(ピー県)：1年次比較で50%増加している。</u></p> <p>→1年目から3年目の利用者増加率は約300%にて指標を達(36,566名増)。(1年目の児童利用者数：11,900名、2年目：32,808名、3年目：48,466名)</p> <p>4. 児童のライフスキルが改善している</p> <p><u>指標：知識(言葉(母語)や情報、道徳等)、態度(人の話を聞いたりする意欲、他者や世界について感心を持つ等)、技能(思考力、コミュニケーション能力等)が身に付いている</u></p> <p>→利用児童の変化について7館35人の親へ聞き取りを行ったところ、ほぼ全員より前向きな変化に対する回答が得られた。例として、「対人コミュニケーションの改善」「態度の変化」「言葉使いの改善」</p>

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2017年10月23日

報告書名：平成28年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

	<p>「知識の向上」等の変化が見られているとの回答を得た。</p> <p>5. 図書館員による移動図書館活動が定期的に行われている</p> <p><u>指標.2年目（タヤワディ県）：7割以上の図書館員が移動図書館プログラムを実施できている</u></p> <p>→事業対象公共図書館員全8名全員が、移動図書館プログラムを実施できていることを確認した。</p> <p><u>指標.3年目（ピー県）：8割以上の図書館員が移動図書館プログラムを実施できている</u></p> <p>→1年目の事業対象公共図書館員全6名のうち、6名全員が移動図書館プログラムを実施できていることを確認した。</p> <p>（2）児童図書の作家、イラストレーター、編集者への能力強化が行われる</p> <p><u>指標.3年目：参加者の8割以上が児童図書出版に必要な技能、知識を有している</u></p> <p>→研修会参加者20人のうち、全員が必要な技能、知識を得たと参加者アンケートにて回答。更に、2年目開催研修会からの継続参加者は14人となり、2年目に習得した技能や知識を生かし、3年目研修会での製作内容は質の向上が見られ指標達成を確認できた。専門家の提案を踏まえ、完成した作品のうち1点は紙芝居出版することも決定した。</p> <p>（3）ミャンマー翻訳協会との共催で翻訳コンクールを行い、ビルマ語の教育図書が出版される</p> <p><u>指標.3年目：図書館、移動図書館を利用する児童の7割以上が出版された教育図書を利用している</u></p> <p>→児童スペース内では教育図書の貸出しは行っていないため、移動図書館活動による利用者にて算出。2県における図書館、移動図書館の利用者総数は116,353名。うち移動図書館利用者は78,944名であり、全体の約7割となる。</p>	
--	--	--